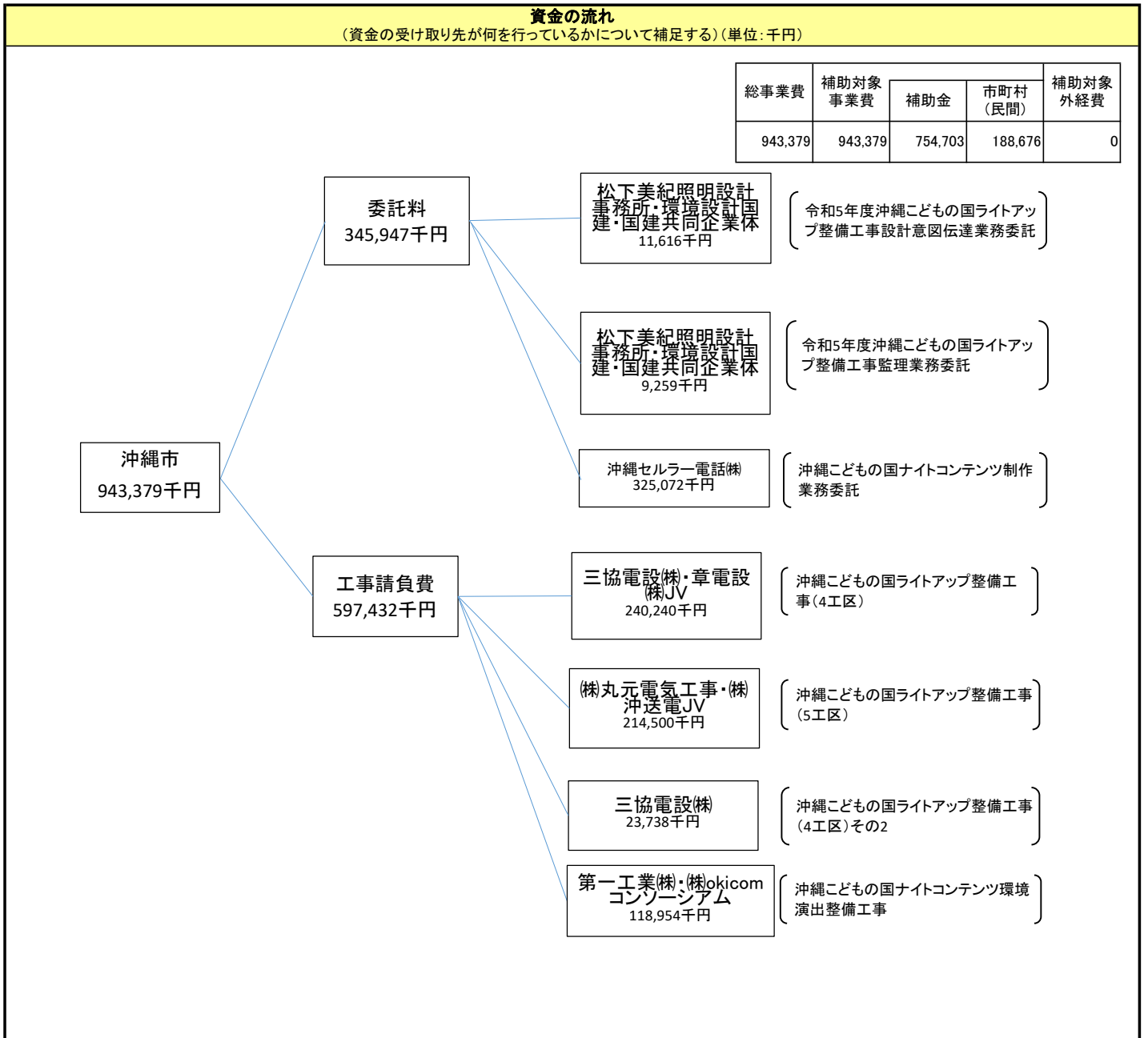


事業主体名	沖縄市					
令和5年度(繰越)沖縄振興特定事業推進費(市町村・民間)検証シート						
事業名	沖縄こどもの国拡充事業				担当部署名	企画部プロジェクト推進室
					認定市町村名	-
広域性要件または先導性要件の該当有無	<input checked="" type="checkbox"/>	広域性要件	現年事業または繰越事業	<input type="checkbox"/>	現年事業	事業実施(予定)年度
	<input type="checkbox"/>	先導性要件		<input checked="" type="checkbox"/>	繰越事業	
事業内容	<p>県内唯一の本格的動物園「沖縄こどもの国」において、新型コロナウイルス感染症収束後の確実な観光客の回復を図りつつ、コロナ禍において求められる来園者の分散(空間確保)を実現するため、夜間開園の本格的実施に向けたライトアップ整備等を行う必要がある。園内全域において夜間ライトアップの整備を行い、沖縄こどもの国の夜間営業を実施することで、更なる観光客と来園者の分散(空間確保)を図る。</p>					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和6年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R5年度(繰越)		
	当初予算額	1,230,456	1,246,771	0		
	増減額	0	0	0		
	予算の状況	1,230,456	1,246,771	0		
	前年度から繰越	0	774,176	943,611		
	翌年度へ繰越	774,176	943,611	0		
	計(A)	456,280	1,077,336	943,611		
	執行済額(B)	456,280	1,077,336	943,379		
	うち補助金充当額	365,024	861,868	754,703		
	不用額	0	0	232		
執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	R4年度事業に関しては照明機器製作に必要な半導体の納期遅延により、令和5年度に繰越した。 R5年度事業に関しては電気ケーブルの納期遅延により、令和6年度に繰越した。 R5年度事業に関して、ライトアップ数量の減や入札残により不用額が発生したが、ほぼ予定どおり執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況				
		R4年度	R5年度	R5年度(繰越)	年度	年度
	照明知御装置整備	目標	整備	整備		
		実績	繰越	整備完了		
	ナイトコンテンツ制作	目標		制作	制作	
		実績		繰越	制作完了	
	照明整備工事	目標	整備	整備	整備	
実績		繰越	繰越	整備完了		
達成状況説明	R4年度は半導体納期遅延により繰越したが整備完了した。 R5年度は電気ケーブル納期遅延により繰越したが整備完了した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	年度
	本施設への来園者数の増加	目標	-	-	-	75万人
		実績	36万人	53.1万人	59.8万人	72.7万人
	成果目標(指標)	基準値(年度)	年度	年度	年度	年度
		目標				
		実績				
進捗状況説明	事業完了に時間を要し夜間開園がR6年7月からのスタートとなったことや、夜間開園についての周知不足やイベント時の駐車場不足(近隣駐車場を借用してシャトルバス対応)のため、R6年度の目標値には届かなかったが、R5年度59.8万人より約13万人増の72.7万人となった。					

成果目標に対する原因・要因分析		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・ライトアップ整備を行い、夜間開園を行っているが、誘客効果を高めるため夜間用のコンテンツや夜間運営の強化が不足していた。 ・夜間運営を行いながら、必要な箇所へ演出照明を設置し機能強化を図る必要がある。 ・効果的な周知広報が不足していた。 ・現在園内の駐車可能台数が700台であるが、イベント時来園者が4,000人を超えると、駐車場が不足することから、園外に1,000台の駐車場を借用していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間用のコンテンツについては、リピーターを飽きさせないように適時更新し、顧客満足度の向上を図る必要がある。また、新しいコンテンツは季節毎に対応を変化させるなど話題性の創出を図る。 ・夜間運営については、展示方法やイベント、サービスなど最新のトレンドを把握し、本施設に取り入れるために先進地事例等を参考にする。また、他施設の運営者や専門家と交流し、情報交換や協力関係を築くことで業界の最新情報を活用することができる。 ・他事業にて用地取得を実施しており、駐車場用地としての活用も検討する。
	今後の取り組み方針	
先進地視察により夜間運営の強化を図るとともに、演出照明を追加設置、ナイトコンテンツにより観光誘客効果を高め、来園者数の増加を目指す。		



資金の流れ、費用・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は指名競争入札、委託事業者は随意契約だが、特殊性から設計者とおこなっており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、3社見積りや設計金額を踏まえ適正だと判断できる。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要性について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。